

コミュニケーション能力が重要に

「かかりつけ薬剤師制度」がスタート

患者との関わり方に変化
豊富な知識の蓄積を

今年4月の診療報酬改定
で「かかりつけ薬剤師制度」がスタートした。普段

から相談できるかかりつけ
の薬局・薬剤師を決め、患
者の安全な服薬に役立てよ
うという狙いで、薬剤師の
あり方も変わる。今、どん
な薬剤師が求められている
のだろう。



制度」で患者と薬局の関わ
り方はどう変わりますか

「患者さんが自分のかか
りつけ薬剤師を指定する
と、自分がどんな薬を服用
しているか、そのかかりつ
け薬剤師が把握してくれ、

メディセレ 児島 恵美子社長



飲み合せとか、副作用などについてアドバスしていくようになります。別の病気や違う病院で同じような薬が重複して、飲みすぎてしまったりするのを防げます。薬剤師側からいう

と、それだけ幅広く、豊富な知識を蓄えておかなければなりません。一定期間の薬局勤務や研修なども義務付けられます

——薬剤師を目指す若い人が増えていますが、期待

される薬剤師像へのハードルも高そうですね

「クスリは逆から読むと

ト薬局制度もスタートしま

す

「病気の予防も含めて、日常的に患者さんの相談を受けられるよう」という趣旨で、地域と連携を深め、24時間体制をとるなど、より患者さんに寄り添った在り方が求められます。薬剤

劑だけでなく、物理・化学・生物から薬理、衛生、法規、治療など多岐にわたる分野の知識が求められ、治療などは医学の進歩で日々変わっている。薬学部のある大学は74に増え、学生数も大幅に増加しています

が、薬を調剤していればいいという時代ではなくなっていることを自覚してほしいですね」

——「かかりつけ薬剤師制度」で患者と薬局の関わり方はどう変わりますか

これから薬剤師はコミュニケーション能力を高めることが必要です。患者さんの話をよく聞き、分かりやすく話す。心理学的アプローチや人との関わりを心掛ける。科学に基づいた正しい知識を提供し、患者さんが後悔しない薬の選択をサポートできるような薬剤

こじま・えみこ 神戸薬科大学卒、認定薬剤師、認定スポーツファーマシスト、平成19年、薬剤師養成予備校「メディセレ」を設立。

地域と連携した体制を
後悔しない薬の選択

——10月には健康サポー